

《担当者名》片岡 晃（非）

【概要】

学校教育における教育課程の意義・目的、学習指導要領の位置付け・内容などを学修したうえで、教育課程を編成・運営するために必要な知識としての基本原理、手順、カリキュラム・マネジメントなどについて学ぶ。さらに、いくつかの学校の事例分析をおして教員として必要な実践力を学び、国際的な資質・能力観動向から教育課程の課題について学ぶ。

【学修目標】

学校教育における教育課程について、教員として必要な基礎的知識と実践的な力を身に付ける。

- (1)学校教育における教育課程の役割・機能と、その意義を理解する。
- (2)教育課程編成の基本原理と、その編成方法を理解する。
- (3)学校教育課程の全体を把握し、マネジメントすることの意義を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	教育課程の意義(1)	教育課程とは何か並びにその意義・目的を学ぶ。 1 教育課程とは 2 教育課程編成の意義・目的 3 教育課程の原則、要素、運用	片岡
2	教育課程の意義(2)	教育課程に関する法制を学ぶ。 1 教育基本法 2 学校教育法 3 学校教育法施行規則 4 学習指導要領 5 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 6 学習指導要領の法的拘束力	片岡
3	教育課程の意義(3)	「学習指導要領」の位置付け・内容と要点・社会的背景、その変遷を学ぶ。 1 第二次世界大戦前 2 第二次世界大戦後	片岡
4	教育課程の意義(4)	現行学習指導要領の特徴並びに社会に果たす役割・機能を学ぶ。 1 高大接続改革の一環としての学習指導要領改訂 2 改訂の基本方針・考え方 3 現行学習指導要領の特徴 (1)育成すべき資質・能力の三つの柱	片岡
5	教育課程の意義(5)	現行学習指導要領の特徴並びに社会に果たす役割・機能を学ぶ。 3 現行学習指導要領の特徴 (2)アクティブ・ラーニング (3)カリキュラム・マネジメント (4)社会に開かれた教育課程の実現	片岡
6	教育課程編成の方法(1) 確認小テスト	教育課程編成の基本原理並びに方針を学ぶ。 1 編成の主体 2 編成の原則	片岡
7	教育課程編成の方法(2)	教育課程編成方法の基礎を学ぶ。 1 教育課程の編成 2 教育課程の編成における共通事項	片岡
8	教育課程編成の方法(3)	教育課程編成の留意点を学ぶ。 1 教育課程の実施と学習評価 2 単位の修得及び卒業の認定 実習：教育課程全体把握	片岡
9	教育課程編成の方法(4)	教育課程編成の留意点を学ぶ。 1 学校運営上の留意事項 2 道德教育に関する配慮事項 実習：教育課程全体把握	片岡
10	教育課程編成の方法(5)	総合的な探究の時間、特別活動、教育課程編成の手順を学ぶ 1 総合的な探究の時間 2 特別活動 3 教育課程編成の手順例	片岡
11	教育課程の運営	カリキュラム・マネジメントの意義並びに重要性を学	片岡

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	確認小テスト	ぶ。 1 教科横断的な視点 2 カリキュラム評価の実施 (PDCA)	
12	教育課程編成の課題(1)	育成すべき資質・能力に関して、OECD研究動向とPISA、及び代表的な海外の理論的動向を学ぶ。 1 国際的機関の取組例：OECD (PISA, Education 2030) 2 育成すべき資質・能力に関する代表的な理論的動向	片岡
13	教育課程編成の課題(2)	学校評価に関する海外の取組と新たな教育方法について学ぶ。 1 学校評価 2 海外数カ国の教育課程について 3 STEAM教育例	片岡
14	教育課程編成の課題(3)	教育課程編成に係わる要点を整理し、講義全般を省察する。 1 教育課程を通じた学校作り (顕在的カリキュラムと潜在的カリキュラム) 2 教育課程編成に求められることと人的・予算的資源について	片岡
15	まとめ 確認小テスト	教育課程編成に係る諸課題を整理し、教育課程のあるべき姿について自分なりの考えをまとめ論述レポートを作成する。	片岡

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

小テスト3回 20% = 60%、論述レポート20%、授業参加状況（発言、授業ワークシートの取組）20%

【教科書】

文部科学省「高等学校学習指導要領」

【参考書】

文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総則編」（東洋館出版社）

文部科学省「生徒指導提要」（教育図書）

広岡義之編著「新しい教育課程論」（ミネルヴァ書房）

授業中に適宜参考書を紹介するとともに資料を配布する。

【備考】

(1)1回目の授業の際に全15回の授業の概要と評価の観点を説明する。

(2)授業で学ぶ内容について自ら考え、授業の中でも積極的に意見交換すること。

【学修の準備】

(1)予習：毎回の授業時の最後に次回の授業内容を予告するので、教科書の該当する範囲や関連する資料を読んで学ぶ内容を確認しておくこと。（80分）

(2)復習：授業時に配布した資料並びに教科書、参考書を活用して学んだ内容を整理すること。（80分）

(3)学修の区切りで小テストを3回行うので、講義で説明された知識を整理すること。

(4)常日頃から教育改革の動向や教育問題について関心を持ち、必要に応じて報道記事などをスクラップやメモするように心掛けること。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教育の基礎的理解に関する科目」の「教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）に該当する。

【実務経験】

高等学校教員及び校長

【実務経験を活かした教育内容】

高等学校での教員・校長としての実務経験を活かし、教育課程の事例分析や編成作業などの実践的教育を行う。